

DAY1

開 会 式

日時：7月13日(木) 13時00分～13時40分 場所：金剛峯寺新別殿

声明

開会宣言

東京大学先端科学技術研究センター所長・教授 杉山正和

ホスト挨拶

金剛峯寺執行長・高野山真言宗宗務総長 今川泰伸
高野町長 平野嘉也

SESSION 00 フラッシュセッション

高野山会議2023の楽しみ方

日時：7月13日(木) 13時45分～14時45分 場所：金剛峯寺新別殿

進行：東京大学名誉教授・東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー
先端アートデザイン分野研究統括 神崎亮平

セッション概要

はじめに、「高野山会議2023」全体を俯瞰して、高野山会議の背景や意義、4日間の見どころ、聴きどころをフラッシュでお伝えします。

はじめに 先端研のこと、高野山会議のこと、高野山会議への思い

Day1 SESSION 01 伊藤志信

Day2 SESSION 02 伊藤節

Day3 SESSION 03 近藤薫

SESSION 04 吉本英樹

Day4 SESSION 05 神崎亮平、松長潤慶

高野山宣言

SESSION 01 和の芸術とデザイン

THINKING WITH NATURE 統括：伊藤志信

日時：7月13日(木) 15時00分～17時00分 場所：金剛峯寺大会議室

和 / 芸術とデザイン / ネイチャーセンタード / サステナビリティ / 匠

セッション概要

このセッションでは、東西、日本とイタリアからそれぞれゲストスピーカーをお招きして、和の芸術とデザイン、THINKING WITH NATUREについて議論していきます。

日本思想の芸術とデザインは、「日本の宗教観」が大きく影響しているのではないかと思います。

日本には、信仰と自然との関わりの中で生まれてきた素晴らしいアートデザインが数多くあります。

AAD主幹である神崎亮平先生から、宗教哲学、スピリチュアルを包括したアートデザイン分野を設立したいとお話があった時、日頃のイタリアでのデザイン活動の中で感じていた、日本人の芸術感性は日本人のもつ自然観、宗教観に深く関わりがあり、私達のデザインの世界にもそこが非常に重要であると共感しました。物質中心の拡張主義から解放された現在、大量生産大量消費時代の終わりに考えるべきこれからの芸術とデザインとは何でしょうか？ 現在、私たちは生産に対する考え方を支える技術革命の真只中にいます。IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクス等の新しいITテクノロジー優先時代に、芸術デザインに対して別の流れが出てきました。それは、都市計画、建築、農業、食品生産等、様々な分野にも広がる持続可能な循環型社会を重視する動きです。その中で芸術デザイン分野で注目されるのが、手とコミュニケーションから生み出されるクラフトマンシップ、伝統技術と革新性の融合、メイドバイハンド思考です。科学技術の発展は世の中を便利にしましたが、時に人を不安にさせてきました。匠の持つ癒し、歴史と伝統から得る安心感とは何なのでしょう？ そこに和の思想の魂があると考えています。環境にあった暮らしを導く、対立ではなく共生を導くアートデザインの必要性です。

日本の木桶の技術で伝統工芸からアート作品まで幅広く制作をする匠、中川周士さんにご登壇いただきます。未来につながる日本の芸術とデザインとは何なのでしょう？

数々の日本に関する展示会のキュレーションを手がけ、数多くの著書を執筆され、ヨーロッパの中でも日本のアートデザイン研究の第一人者であるミラノ大学准教授のRossella Menegazzo先生に、ご自身の経験を通して、海外から見た日本のアートデザインについてご講義いただきます。

最後に伊藤志信が、自身の作品制作を通して感じた和の思想とは何かをお話します。

日本人である私がイタリアにおいてデザインを行っていく中で、日本にいる時以上に和を意識させられる事が多くあります。日本では当たり前のように使っているデザイン言語も、世界に出るとオリジナリティの高い評価を受けることがあります。そのキーを探っていきます。

「1200年後の世界」とのかかわり

1200年後の私たちの環境と生活、文化はどう変わっているのでしょうか。それは、産業革命以降の100年余を総括して、我々の世界を変革する持続可能な開発や、今後の私たちの思想とその行動が反映されていくでしょう。

芸術デザインという視点を選んで、物質中心の拡張主義から解放された、日本の新たな文化の方向性を考察します。

【ホスト & ゲスト】伊藤志信 / 中川周士 / Rossella Menegazzo

木桶デモンストレーション

日時：7月13日(木) 17時30分～17時50分 場所：黎明館

形の違った自然の木片が完璧な器へ。匠木工熟練士、中川周士氏による和のフレキシビリティの実演。

【ホスト & ゲスト】伊藤志信 / 中川周士

高野山会議 2023 公式レセプション

日時：7月13日(木) 18時00分～20時00分 場所：高野山大学 黎明館ロビー

ホスト挨拶

和歌山県知事 岸本周平

金剛峯寺第524世寺務校執行法印・高野山大学長 添田隆昭

ウェルカムブース

先端研と連携している地元から地域産品の試食や地域の紹介などコミュニケーションのためのブースを設置します。たくさんの皆様に高野山をはじめ高野山麓地域、和歌山県の魅力を伝えます。

協力自治体

高野町 町長 平野嘉也

橋本市 市長 平木哲朗

かつらぎ町 町長 中阪雅則

和歌山県 知事 岸本周平

協賛・協力

【橋本市】

紀州繊維工業協同組合

農事組合法人くまびら・農産物直売交流施設組合

紀州製芋組合

【かつらぎ町】

OUTDOOR LIFE STYLE Orange

紀州食品株式会社

DAY2

朝のエクスカージョン

日時：7月14日(金) 8時00分～8時45分 場所：根本大塔-壇上伽藍

高野山の大切な道場であり世界遺産の中心的エリアのひとつ「壇上伽藍」をご案内いただきます。

【ご案内】高野山執務公室長 弘法大師御誕生1250年記念大法会事務局長 萩原彦

SESSION 02 インクルーシブデザイン 統括：伊藤節

日時：7月14日(金) 9時00分～11時00分 場所：金剛峯寺大会議室

社会的包摂 / ダイバーシティ / バリアフリー / 当事者研究 / ユニバーサルデザイン

セッション概要

東京大学先端科学技術研究センターに新しく生まれた先端アートデザイン分野では「Nature-Centered and Inclusive Society」をメインテーマとし、科学技術と宗教哲学、アートデザインが同時進行する新しい「和」のクリエイティビティを目指しています。これは多岐に渡る領域の研究者が連携する先端研全体の共通テーマにもなっています。ここでいう「和」の創造性とは、西洋中心のこれまでの科学技術発展史の中での人間中心の個＝「差」の解に対して、様々な分野の知識や経験を合わせる「和」の解を求めるという意味であり、同時に森羅万象、自然との共生を常に目指してきた東洋思想、日本ならではの「和」の解を求めていくことも意味しています。これは長年に渡る西洋と東洋のデザイン比較研究の実体験の中で見出してきた未来のデザインが目指すべき方向性でもあります。

私たちが目指すこの「和」の創造性であるところのネイチャーセントラルデザインとは、人間を含めた自然界の様々な個、個々の生物の生命やその体系を包摂する社会を目指したデザインという意味でもあります。第一次産業革命以降の工業化の流れの中で人類のものづくりは効率的で画一的な方向を目指してきました。個々の生命を大切にものづくりの中では、個性を尊重することが重要になってきます。個々の個性を尊重するためには、個々を差異化、差別化していくのではなく、個々の力を合わせて全ての個を包摂していくことを目指す必要があります。皆がそれぞれに情報発信できる今の社会では個が一人歩きして、本来は自然や人同士の触れ合いを通して育まれるべき個々の感性が、無機質でバクバクで互いに尊重されない差別化に向かっている気がします。皆が触れ合い協力し合いそれぞれの個に合わせたものやシステムを一緒に考え生み出していく、「インクルーシブデザイン」はそのための有効な方法論だと考えます。

先端研先端アートデザイン分野ではその柱の一つとして、先端研のユニークな研究組織であるバリアフリー分野と共同してインクルーシブデザイン研究を進めています。本セッションでは、ゲスト登壇者として先端研バリアフリー分野でインクルーシブデザインラボを主催される生物学者の並木重宏准教授、そして日本のユニバーサルデザイン、インクルーシブデザイン研究の第一人者で元日産自動車チーフデザイナー、筑波大学及び札幌市立大学名誉教授の蓮見孝先生をお招きしパネルディスカッションを行います。多様性を包摂する未来の社会づくりに向けた、全員参加型のインクルーシブデザインという新しい「和」のクリエイティビティのあり方について、会場に集う様々な分野の皆さんを交えて議論したいと思います。

「1200年後の世界」とのかかわり

2400年前ギリシャのプラトンに始まり、600年前にレオナルド・ダ・ヴィンチが継承してきた西洋的科学技術の発展、そしてここ200年に体験してきた4つの産業革命を通して、現代の私たちの社会は科学技術の大きな発展の恵みとともに、人間中心の科学技術がもたらした自然体系破壊による人類存続の危機をも孕んでいます。1200年前に高野山の空海が説いた宇宙や自然と一体化する東洋思想の人のあり方は、今後600年、1200年、2400年後の人間社会を持続継続していくための大きな指針となります。未来の人材や社会を構築していく教育やデザインにおいても、人を含めた自然界の多様なあふれる個性を互いに尊重し、みんなが協力し合って包摂的な人材や社会を育成、デザインしていくことが求められます。

【ホスト & ゲスト】伊藤節 / 並木重宏 / 蓮見孝

高野山麓エクスカージョン

コース A 橋本市高野口 日時：7月14日(金) 11時30分～18時00分
高野口小学校(重要文化財)～パイル織物工場(妙中パイル織物株式会社)～旧葛城館(登録有形文化財)

- ・連携協定式 橋本市×先端研 於 高野口小学校
- ・ワークショップ「地域産業の未来」 於 同上

【スピーカー】橋本市長 平本哲朗、紀州織維工業協同組合理事長 杉村泰久 他

コース B かつらぎ町天野 日時：7月14日(金) 11時30分～18時00分

丹生都比売神社(世界遺産、正式参拝・奉納演奏)～地域交流センター ゆずり葉

- ・連携協定式 かつらぎ町×先端研 於 丹生都比売神社 拝殿
- ・地域食材によるBBQと生産者との交流会 於 地域交流センター ゆずり葉
- ・ワークショップ「養蚕と神社と地域振興」 於 同上

【スピーカー】かつらぎ町長 中阪雅則、丹生都比売神社宮司 丹生晃市 他

【奉納演奏】第一ヴァイオリン 近藤薫、第二ヴァイオリン 戸上眞里、ヴィオラ 須田祥子、チェロ 広田勇樹

澤クァルテット特別演奏会

日時：7月14日(金) 19時30分～21時00分 場所：金剛峯寺新別殿

澤クァルテット

1990年11月の結成以来、現在に至るまで一人のメンバー交代もなく、不動のメンバーで春・秋のツアーを中心に充実した活動を展開する、日本屈指の弦楽四重奏団。

【プログラム】

- A. ヴェーベルン 弦楽四重奏曲(1905)
- L.v. ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第13番 Op.130「大フーガ付き」

【出演】第一ヴァイオリン 澤和樹、第二ヴァイオリン 大関博明、ヴィオラ 市坪俊彦、チェロ 林俊昭
※招待者のみ

DAY3

SESSION 03 次世代育成 ～STEAM教育と芸術環境創造～ 統括：近藤薫

日時：7月15日(土) 9時00分～11時00分 場所：金剛峯寺大会議室
教育 / 芸術 / 音楽

セッション概要

盛者必衰の理のように、豊かに見える社会ほど閉塞感に見舞われ、生物内でエントロピーが増大していくように社会そのものが衰退していく—これは、社会を体系的にシナマチックにデザインする概念が運命的に陥る「価値観の収束」に端を発します。皮肉なことに、成熟した安定した社会を望むほどにシステムは強固になり価値観はより収束され、新陳代謝が滞り、多様性を失い、自らの社会が生み出した問題を自らで解決できなくなってしまいます。

これに対抗するのが芸術です。芸術は、人類が文明・文化を築きあげていく中で常に重要な役割を果たしてきました。むしろ、ほとんど本能的な美の追求が、文明・文化の芯のように振る舞い、社会性の中で芸術として昇華された。または芸術が社会性を生み出してきたと言えるかもしれません。また、少なくとも同じ文明・文化の上では芸術のバトンは繋かれ、紡がれてきており、時には時間と空間を超えて異なるもの同士、異なる価値観同士を結びつける重要な役割を果たしてきました。

芸術は平和的に社会を変革しようもの(少なくとも直接的には)であり、負のエントロピーであり、多様性そのものです。バチカンもハプスブルグ家も豊臣秀吉も、時の権力者たちが芸術を手元に置きたがったのは、その力を理解していたからでしょう。さて、社会システムを構築していく上で重要な基礎となるのは「教育」です。今回のセッションでは、株式会社JERA代表取締役社長CEO兼COOの奥田久栄氏より基調講演をしていただき、そして芸術を取り入れた教育＝「STEAM教育」について声楽家で東京音楽大学付属高校校長の小森輝彦先生に、育てることは環境を創ることであるという観点から「芸術環境創造」について「横浜みなとみらいホール」館長で東京藝術大学客員教授の新井陽子先生にご登壇いただきます。

「1200年後の世界」とのかかわり

1200年後の世界を考えるには、自らがその世界の当事者である必要があります。密教の教えである「一即多、多即一」は、物質世界における自と他だけでなく、精神世界の自と他をも融和します。物質は有限ですが、精神は無限たる術を持ちます。その一つが芸術であり、それは蓮華と蓮根のように世界に現れます。蓮華と蓮根が常に一体である自覚を促すことを「教育」とします。

【ホスト & ゲスト】近藤薫 / 小森輝彦 / 新井陽子 / 奥田久栄

コンサートシリーズ meets

日時：7月15日(土) 11時30分～12時15分 場所：金剛峯寺本坊

【プログラム】A. フォルザーク 弦楽四重奏曲第12番 Op.96「アメリカ」

【出演】第一ヴァイオリン 近藤薫、第二ヴァイオリン 戸上眞里、ヴィオラ 須田祥子、チェロ 広田勇樹
※予約不要